

## 資料 4

### JSAF 外洋東海2023年度以降の活動方針(案)

#### <背景>

NORC,JYA 統合後22年が経過したが、その間日本経済は失われた30年と言われるように、成長が鈍化し近年に至っては円高、物価高に対応しきれない状況だと思えます。一方で JSAF 外洋東海の会員数もこの社会現象と並行するように変動しているようです。統合当時500名以上あったものが、その後の10年間は大きな変化は無かったものの、2010年以降徐々に減少し、ここ3年間のコロナ拡大が大きく影響したためか2021年度には311名まで減少しました。実に200名(40%減)の減少です。

この減少の要因の一つには会員の高齢化も大きく影響しているとも考えられますが、今後 JSAF 外洋東海が従前のように活動していくためには、危機的な状況にあると言わざるを得ません。

#### <今後の目標>

現状を改善するため、JSAF 外洋東海に体力をつける必要があります。このため会員増強、特に若い血を入れなければならないと思います。よって10年間で100名の会員増強を目標とした行動計画をここに提案いたします。

1. 若いヨットマンが入会しやすくするため、次年度より年会費を減額改正する。
2. レースへの参加艇数を増やすため、エントリーフィーを減額すると共に、パーティーや表彰内容をグレードアップし、レース参加意欲を向上させる。
3. JSAF 外洋東海傘下のヨットクラブ等が行う合同レース・行事等に対し、資金助成や年間優勝カップ(外洋東海会長杯)を授与する。

#### <財源の確保>

外洋東海が NORC 時代から会員の海難事故対応や主催するレースの事故等で責任を問われた場合の資金の一部とする目的で、会員に毎年負担していただき蓄えてきた資金が、「外洋東海友の会」財産として2,600万円余り存在している。

当時は今の主催者保険のようなものが無かったため必要に迫られたが、近年は保険制度も整備され、これに対応が可能なことから、15年前から会費の徴収をしていないし、現会員の半数以上はこの基金の負担をしていないので、このことについて理解していないと思われる。

更に、この基金のために多額の負担をしていただいたのは、現会員の5分の1程度

とこれまでに退会された多くの諸先輩方です。

友の会規約第4条の(3)には「JSAF 外洋東海に対して必要な時は、資金の援助(貸付、寄付を含む)を行う。」と規定されていることもあり、今回の活動に必要な財源として寄付の形で使わせてもらえればと考えた次第です。また、このことによってJSAF 外洋東海が現状から脱却し、躍進することは諸先輩方も望まれていることと深く信じるところです。

今後の目標に掲げた事業を遂行するためには、年会費の減額で年100万円の収入減が生じ、会員サービスを中心とする活動活性化にも年100万円程度が必要なため、外部から200万円の資金援助が必要となります。

このため、JSAF 外洋東海会長から JSAF 外洋東海友の会会長に対して、10年間毎年200万円の資金の援助をお願いすることとしたい。